

2026年7月14日

株式会社岩手銀行

**「いわぎん 30by30 プロジェクト～ZOOMO で生態系保護体験！
四季折々の植物と外来植物を学び、自然を守ろう！～」の実施について**

岩手銀行（頭取 岩山 徹）は、盛岡市動物公園 ZOOMO（運営：株式会社もりおかパークマネジメント 代表取締役 加藤 彰）の協力のもと、当行が2023年10月から参画している「生物多様性のための30by30 アライアンス」の一環として、「いわぎん 30by30 プロジェクト～ZOOMO で生態系保護体験！四季折々の植物と外来植物を学び、自然を守ろう！～」を実施しましたのでお知らせいたします。なお、ZOOMOにおける生態系保護体験の実施は昨年に引き続き2回目となります。

30by30とは、生物多様性の損失を食い止め、回復させるというゴールに向け、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標です。

当行は今後とも地域社会が抱える課題の解決に積極的に取り組み、持続可能な社会の構築に努めてまいります。

記

1. 実施日

2026年7月5日（日）

2. 実施内容

盛岡市動物公園 ZOOMO において、当行職員および家族など23人が参加し、岩手県立大学名誉教授の渋谷 晃太郎氏およびZOOMO 広報担当の森 敦子氏を講師として、園内に生息する草花・飼育動物の観察や特定外来生物「オオハンゴンソウ」の駆除作業に取り組みました。駆除作業では、参加者が力を合わせ合計689本を駆除しました。駆除の対象となる「オオハンゴンソウ」は、日本の生態系に重大な影響を及ぼす恐れがある植物として、外来生物法により「特定外来生物」に指定され、栽培・運搬等が禁止されています。

3. 盛岡市動物公園 ZOOMO の取り組みについて

ZOOMO は、「人と動物と自然が共生する動物公園」をコンセプトに生物の多様な生き方や関係を伝える社会教育施設であり、「人、動物、環境（生態系）の健康は相互に関連している一つである」という考え方「One World - One Health」を理念に掲げ、野生生物の保全のみならず、自然環境の保全に資する事業を展開しており、里山再生や環境教育など「30by30」の価値観を共有した取り組みを行っています。

盛岡市動物公園 ZOOMO のイベント情報・予約は ZOOMO ホームページをご覧ください。
(URL : <https://zoomo.co.jp>)

【イベントの様子】



以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

地域貢献部 平野、土井 尻 電話：019-623-1111（代表電話）